

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年5月21日～2024年5月20日)

CONSTRUCTION



環境活動実績は、(株)三立建工と(株)ユーケンの合計です。



発行日：2024年7月10日

発行責任者：奥村 弘崇

【 目 次 】

・ 目 次	・ ・ ・ ・ ・	1
・ 1 取 組 対 象 組 織 ・ 活 動	・ ・ ・ ・ ・	2
・ 2 EA21 実 施 体 制 組 織 図	・ ・ ・ ・ ・	3
・ 環 境 経 営 方 針	・ ・ ・ ・ ・	4
・ 3 環 境 経 営 目 標 と そ の 実 績	・ ・ ・ ・ ・	5
・ 4 環 境 経 営 計 画	・ ・ ・ ・ ・	6
・ 5 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容	・ ・ ・	7～8
・ 6 環 境 関 連 法 規 制 の 遵 守 状 況 等	・ ・ ・ ・ ・	8
・ 7 代表者による全体の評価と見直し・指示結果	・ ・ ・	8

1 取組対象組織・活動

1 事業者名及び代表者名

株式会社 三立建工
代表取締役 奥村 弘崇

2 所在地

本社（事務所・資材置場・駐車場） 〒520 - 3017 滋賀県栗東市六地藏188-3
資材置場 〒520 - 3017 滋賀県栗東市六地藏220-3

3 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 常務取締役：斉藤 明彦
連絡先： 077-553-4900
連絡担当者 総務部：垣見 ほのか
連絡先： 077-553-4900
FAX： 077-552-5473
<http://www.sanritsu-kenko.jp>

4 事業活動の内容（認証・登録範囲）

特定建設業 滋賀県知事許可番号（特－2）第20861号
舗装工事業・土木工事業・とび・土工工事業・建築工事業

5 事業の規模

（従業員数は年度初めで記載）

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	1,046	789	894	832
工事件数	件	121	125	129	117
全従業員	名	21	22	22	23

6 関連事業所

① 関連事業所名及び代表者名

株式会社 ユーケン
代表取締役 奥村 弘崇

② 所在地

〒520-3017 滋賀県栗東市六地藏188-4

③ 環境保全関係の責任者（電話番号等）

環境管理責任者 常務取締役：斉藤 明彦
連絡先： 077-575-7740
FAX： 077-552-5524

④ 事業活動の内容（認証・登録範囲）

特定建設業 滋賀県知事許可番号（特－5）第22359号
土木工事業・舗装工事業・とび・土工工事業

⑤ 事業の規模

（従業員数は年度初めで記載）

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	105	239	215	97
工事件数	件	11	12	14	12
全従業員	名	3	3	3	4

7 事業組織

面積：㎡	株式会社 三立建工	株式会社 ユーケン	資材置き場
事務所床面積	200	25	-
倉庫床面積	70	-	-
資機材置場面積	-	-	169
駐車場面積	1,267	-	881
従業員 名	23	4	-
認証・登録	○	○	

8 過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	256,248	116,933	108,576
二酸化炭素排出量百万円原単位	Kg-CO ₂ /百万円	249.3	105.4	97.9
廃棄物の排出量	t	1,990	934	954
水の使用量、排水量	m ³	250	422	554

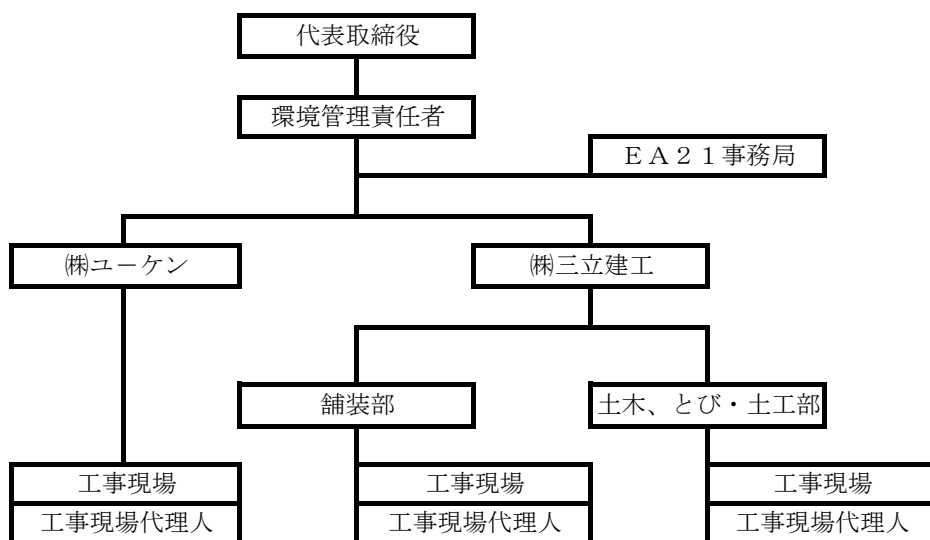
*この表では取組の継続性を比較するため、購入電力の排出係数は、関西電力2021年度調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWhを北陸電力2021年度調整後排出係数0.489kg-CO₂/kWhを2023年から2025年までの3ヶ年間固定して取り組みます。

*環境活動実績は、(株)三立建工と(株)ユーケンの合計です。

*化学物質の使用量はありません。

2 EA2 1 実施体制組織図

改訂日：2023年4月1日



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。 ⑥環境経営レポートを承認・許可する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 三立建工

環境経営方針

環境理念

当社は、地域に生かされ、地域と共に生きる企業であることを自覚し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心とした舗装工事、土木工事、とび・土工の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
 - ☆ 事務所や建設現場で使用する電気・燃料・ガス等のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ☆ 事業活動で発生する産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境に配慮した建設工事を行います。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定 2012年10月1日

改訂 2020年 6月1日

代表取締役 **奥村 弘崇**

3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2013年より取組んでいます。このレポートでは、2022年度までの実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、2023年5月21日から2024年5月20日までの運用実績について取りまとめました。

						次年度	次々年度
環境経営方針	取組項目	年度 単位	2022年	取組年 2023年 2023年5月21日から 2024年5月20日		2024年	2025年
			(基準)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
事務所や建設現場で使用する電気・燃料・ガス等のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年比達成率	100%	99%	95.4%	98%	97%
		使用量	26,967	26,697	25,740	26,428	26,158
		(kg-CO ₂)	8,387	8,303	8,005	8,219	8,135
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率	100%	99%	79.0%	98%	97%
		使用量	12,167	12,045	9,608	11,923	11,802
		(kg-CO ₂)	28,226	27,944	22,290	27,662	27,380
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比達成率	100%	99%	99.2%	98%	97%
		使用量	29,198	28,906	28,979	28,614	28,322
		(kg-CO ₂)	75,331	74,578	74,766	73,825	73,071
	LPG使用量の削減 (単位：kg) 建設現場	目標・基準年比達成率	100%	99%	120.1%	98%	97%
		使用量	975	966	1,172	956	946
		(kg-CO ₂)	2,926	2,897	3,515	2,868	2,838
	二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)	目標・基準年比達成率	100%	99%	94.5%	98%	97%
		(kg-CO ₂)	114,871	113,722	108,576	112,573	111,425
二酸化炭素排出量原単位	二酸化炭素排出量原単位 (CO ₂ /百万円)	目標・基準年比達成率	100%	98%	92.9%	97%	96%
		CO ₂ /百万円	105.4	103.3	97.9	102	101
事業活動で発生する産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	—	—	102.0%	—	—
		リサイクル率	99.96%	98%	100%	98%	98%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	目標・基準年比達成率	100%	99%	131%	98%	97%
		(㎡)	422	417.8	554	413.6	409.3
	濁水発生防止監視 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	—	—	100%	—	—
		(%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した建設工事を行います。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	—	—	100%	—	—
		(%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位：回)	目標・取組年比達成率	—	—	100%	—	—
		(回)	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- この表では取組の継続性を比較するため、購入電力の排出係数は、関西電力2021年度調整後排出係数0.311kg-CO₂/kWhを2023年から2025年までの3ヶ年間固定して取り組みます。
- 環境活動実績は、㈱三立建工と㈱ユーケンの合計です。
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して総量で把握し、性状を勘案して建設リサイクル率で取組みます。
- 水使用量については、事務所における水使用量の削減について取り組む。また建設現場では100%濁水監視に取り組みます。
- 環境配慮施工は、低騒音・低振動型重機と排ガス規制適合車両100%使用に取り組みます。
- 環境活動は美知メセナ活動や滋賀県・栗東市の美化活動に参加に取り組みます。
- 化学物質の使用はないが、使用がある場合はSDSで適正管理を努めます。
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組みます。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所や建設現場で使用する電気・燃料・ガス等のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）	事務部
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	① エコドライブの励行 ② 重機の環境に配慮した効率的な稼働 ③ 暖機運転・アイドリングストップ ④ 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	工事部
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場		
	LPG使用量の削減 (単位：kg) 建設現場	① アスファルト合材の適正温度管理	
事業活動で発生する産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	廃棄物 ① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 建設混合廃棄物を削減する。 ③ 無駄な資機材を購入しない。	事務部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	事務部
	濁水発生防止監視 (単位：%) 建設現場	① 建設現場では、濁水監視を実施する	工事部
環境に配慮した建設工事を行います。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	① 環境対策型重機の使用 ② 排ガス規制適合車の使用 ③ 植栽のある施工 ④ 再生資源利用施工	工事部
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回)	① 地域の清掃活動に参加する。 ② 美知メセナ活動に参加する	営業部

取組の紹介

- ・エネルギー使用量の削減をめざし、外気温が29度を超えてからエアコンをつける。
- ・再生資源の利用として、裏紙を利用している。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価欄：○目標達成 △目標値未達成（105%以内） ×目標未達成

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2022年度	取組年	2023年度	評価	取組の評価	担当責任者
			(基準)	(目標)	(実績)			
事務所や建設現場で使用する電気・燃料・ガス等のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年比達成率	100%	99%	95.4%	○	暖冬により暖房機器の使用頻度が減り、電力使用量が前年度より減少した。不用時の消灯、機械設備・OA機器のスイッチオフ、エアコンの温度管理を実施した。	事務部
		使用量	26,967	26,697	25,740			
		(kg-CO ₂)	8,387	8,303	8,005			
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年比達成率	100%	99%	79.0%	○	エコドライブ・アイドリングストップについては、高い意識を持って実施した。重機の効率的な稼働に努め、車両の点検をこまめに実施したため、ガソリン・軽油の使用量が削減できた。業務内容によりLPGを使用する頻度が増加したため数値評価としては未達成。	工事部
		使用量	12,167	12,045	9,608			
		(kg-CO ₂)	28,226	27,944	22,290			
	軽油使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年比達成率	100%	99%	99.2%	△		
		使用量	29,198	28,906	28,979			
		(kg-CO ₂)	75,331	74,578	74,766			
	LPG使用量の削減 (単位:kg)	目標・基準年比達成率	100%	99%	120.1%	×		
		使用量	975	966	1,172			
		(kg-CO ₂)	2,926	2,897	3,515			
二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)	目標・基準年比達成率	100%	99%	94.5%	○			
	(kg-CO ₂)	114,871	113,722	108,576				
	二酸化炭素排出量原単位(CO2/百万円)	1	98%	92.9%		○		
CO2/百万円	105.4	103.3	97.9					
事業活動で発生する産業廃棄物は分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進(単位:%)	目標・取組年比達成率	-	-	102.0%	○	建設廃棄物の分別・リユース・リサイクルを徹底し、建設混合廃棄物を削減できた。また、無駄な資機材を購入しなかった。	事務部
	建設現場	リサイクル率	1	98%	99.96%			
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	目標・基準年比達成率	100%	99%	131.3%	×	洗車・洗い物の水量削減に努めたが、2022年2月に従業員用シャワールーム・トイレ・洗面台を新たに設置したことにより、水の使用量が増加した。次年度は、基準年を変更する。	事務部
		(m ³)	422.0	417.8	554.0			
	濁水発生防止監視 (単位:%)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	○		
		建設現場	(%)	1	100%			
環境に配慮した建設工事を行います。	環境配慮施工の推進 (単位:%)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	○	環境対策型重機・排ガス規制適合車の使用、再生資源利用施工を実施した。	工事部
		建設現場	(%)	100%	100%			
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位:回)	目標・取組年比達成率	-	-	100%	○	美知メセナ活動に参加した。	営業部
(回)	12	12	12					

今年度の主な取組内容

- エネルギー使用量削減では、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働に取組した。
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して総量で把握し、性状を勘案して建設リサイクル率で取組した。
- 水使用量については、事務所における水使用量の削減について取組した。また建設現場では100%濁水監視に取組した。
- 環境配慮施工は、低騒音・低振動型重機と排ガス規制適合車両100%使用に取組した。
- 環境活動は、美知メセナ活動や滋賀県・栗東市の美化活動に参加に取組した。
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組した。



次年度の主な取組内容

- 1
- エネルギー使用量削減では、節電、エコドライブ、重機の効率的な稼働に取組みます
- 2
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して総量で把握し、性状を勘案して建設リサイクル率で取組みます
- 3
- 水使用量については、事務所における水使用量の削減について取り組む。また建設現場では100%濁水監視に取組みます
- 4
- 環境配慮施工は、低騒音・低振動型重機と排ガス規制適合車両100%使用に取組みます
- 5
- 環境活動は美知メセナ活動や滋賀県・栗東市の美化活動に参加に取組みます
- 6
- 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます
今後も引き続き、朝礼等を通じて各担当責任者より周知徹底していきます

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の3R及び管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材の事前調査	遵守
騒音規制法	対象特定施設及び特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設及び特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出と適正保管	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、廃棄、点検記録の保存、特定解体工事に係る事前確認や書面による説明	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年7月10日

- ・今回の電力使用量は、エアコンの適切な温度管理などを実施して目標を達成していました。今後も不要時の消灯、エアコンの適切な温度管理、機械設備・OA機器のスイッチオフに努めるよう社員全員に指示しました。
- ・LPG使用量は、寮生の使用量が集計されており、目標を超過していました。
- ・水使用量も節水に努めましたが、水の使用量は2022年2月に寮生用シャワールーム・トイレ・洗面台を新たに設置したことにより、水の使用量が増加しました。次年度は、LPG使用量、水使用量は基準値を変更して取組し、今後も節水に努めるよう再度社員全員に指示しました。
- ・各教育訓練などは予定通りに実施できました。今後も引き続き、朝礼等を通じて各担当責任者より周知徹底していきます。
- ・法規制、利害関係者などの苦情、違反はありませんでした。
- ・水使用量は、次年度の目標を変更します。それ以外は、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制に変更はありません。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり